

## 1. 授業の概要(ねらい)

この講義のねらいは、社会・経済現象を捉えるうえで必要なデータを収集・整理・加工し、分析するための基本的な手法を学ぶことにある。講義では、Microsoft Excelを活用したデータの整理を踏まえ、Excel関数を活用した分析を実施し、その結果を記述するまでの一連の作業を実習する。

## 2. 授業の到達目標

1. Excelを用いて分析対象となるデータの特徴を理解できる
2. Excelを用いて分析対象となるデータに適した分析を行うことができる
3. 結果を客観的に解釈することができる

## 3. 成績評価の方法および基準

平常点(70%):各講義内容の理解度を確認する  
期末テスト(30%):講義内容全体の理解と応用力を確認する

## 4. 教科書・参考文献

教科書

毎回、講義資料を配布する。

参考文献

必要に応じて参考書を授業中に紹介する。

## 5. 準備学修の内容

次回の授業までに前回の授業での復習(内容の確認、操作の確認など)を行う(約60分)。  
授業で説明したことを、自分の身の回りの出来事に当てはめて考え、理解を深める。

## 6. その他履修上の注意事項

欠席および公欠の扱いについては、大学の規程に従う。  
情報処理 I と II を両方履修する学生は、同年度に履修することが望ましい。

## 7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 Excelの基礎の確認(データの整形、ピボットテーブル)
- 【第3回】 Excelの基礎の確認(Excel関数、グラフ作成)
- 【第4回】 基本統計量の意味と検定方法
- 【第5回】 MSExcelを活用した記述統計の基本
- 【第6回】 データの特徴を把握する
- 【第7回】 データの特徴を把握する
- 【第8回】 MSExcelを活用した推定統計の基本
- 【第9回】 データの関連性をみる
- 【第10回】 データの関連性をみる
- 【第11回】 データをもとに予測する
- 【第12回】 データをもとに予測する
- 【第13回】 記述統計、推定統計操作のまとめ
- 【第14回】 期末テスト、総復習
- 【第15回】 まとめ